

第35回理事会 2026年4月17日議決

2025年度
第50期 事業報告書

(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

公益財団法人 一ツ橋文芸教育振興会

公益目的事業 1**高等学校における文芸教育振興のための助成**

様々な分野で活躍する方々を全国の高等学校に講師として派遣し、成長過程にある高校生に読書や学ぶ喜びを伝え、未来の指針を考える契機となることを企図する。

第 60回「高校生のための文化講演会」**決算 4,307万円**

(P2-3. 第60回高校生のための文化講演会開催実施一覧)

2025年度は前年と同様に対面での講演会を実施。鎌田實氏、村山由佳氏、福岡伸一氏、綿矢りさ氏ら 28名の講師が全国 76 校で講演。今年も全国各地で猛暑が続いたが、大きな問題もなく、滞りなくすべての行程を終了した。

実施した高校には「集英社文庫 100 冊セット」『集英社国語辞典』を寄贈、冊子『読書への招待 2025』、講師紹介チラシを聴講生徒数分送付した。また、60周年を記念してクリアファイルを作製し、これも全聴講生徒に配布した。後日、聴講した生徒たちから、将来について考えた、大変有意義なお話だった等、講演に対しての熱い思いがこもった感想文が多数届いた。聴講生徒数は 33,558 名、第60 回までの累計聴講者数は 3,728,470名にのぼる。

●実施概要

企画名	第 60 回 高校生のための文化講演会
主催	公益財団法人 一ツ橋文芸教育振興会、各新聞社 37 社
後援	文部科学省、都道府県教育委員会、集英社 ほか
期間	前期:2025年5月19日(月)～6月20日(金) 後期:2025年9月9日(火)～9月26日(金)
講師数 講演数	医師、作家、翻訳家、料理家、ジャーナリストなど様々な分野で活躍する著名な方々(鎌田實氏、村山由佳氏、福岡伸一氏、綿矢りさ氏、コウケンテツ氏など)の講演を前期18名、後期10名、計28名・76校で実施。
図書寄贈	集英社文庫 100 冊セット、集英社国語辞典
配布物	小冊子『読書への招待 2025』、講師紹介チラシ、60周年記念クリアファイル

開催日	AM/PM	新聞社	地区	実施高校	講師名	演題
5/19(月)	AM	徳島新聞社	徳島	吉野川高等学校	鴻巣友季子	ノンフィクションの書き方
5/19(月)	PM	徳島新聞社	徳島	川島高等学校	鴻巣友季子	ノンフィクションの書き方
5/21(水)	AM	山陰中央新報社	島根	横田高等学校	朴慶南	マイナスからプラスを生み出す
5/21(水)	PM	山陰中央新報社	島根	出雲商業高等学校	朴慶南	マイナスからプラスを生み出す
5/27(火)	AM	神奈川新聞社	神奈川	聖和学院高等学校	鎌田實	17歳のきみへ 人生で大事なことは、目には見えない
5/27(火)	PM	神奈川新聞社	神奈川	湘南学院高等学校	鎌田實	17歳のきみへ 人生で大事なことは、目には見えない
5/28(水)	AM	静岡新聞社	静岡	藤枝順心高等学校	鎌田實	17歳のきみへ 人生で大事なことは、目には見えない
5/28(水)	PM	静岡新聞社	静岡	藤枝北高等学校	鎌田實	17歳のきみへ 人生で大事なことは、目には見えない
6/4(水)	AM	琉球新報社	沖縄	糸満高等学校	三宮麻由子	響き合う毎日
6/4(水)	PM	琉球新報社	沖縄	知念高等学校	三宮麻由子	響き合う毎日
6/5(木)	AM	信濃毎日新聞社	長野	文化学園長野高等学校	羽田圭介	“私”は“私”のままで、成長はする —個性と経験・平等な読書—
6/5(木)	PM	信濃毎日新聞社	長野	佐久長聖高等学校	羽田圭介	“私”は“私”のままで、成長はする —個性と経験・平等な読書—
6/5(木)	AM	南日本新聞社	鹿児島	隼人工業高等学校	畠山理仁	NO 選挙、NO LIFE ～選挙を100倍楽しむ方法と真の民主主義
6/5(木)	PM	南日本新聞社	鹿児島	鹿児島第一高等学校	畠山理仁	NO 選挙、NO LIFE ～選挙を100倍楽しむ方法と真の民主主義
6/6(金)	AM	熊本日日新聞社	熊本	玉名女子高等学校	畠山理仁	NO 選挙、NO LIFE ～選挙を100倍楽しむ方法と真の民主主義
6/6(金)	PM	熊本日日新聞社	熊本	必由館高等学校	畠山理仁	NO 選挙、NO LIFE ～選挙を100倍楽しむ方法と真の民主主義
6/6(金)	AM	山梨日日新聞社	山梨	山梨高等学校	豊崎由美	どうして本を読むの？
6/6(金)	PM	山梨日日新聞社	山梨	甲府南高等学校	豊崎由美	どうして本を読むの？
6/9(月)	AM	愛媛新聞社	愛媛	丹原高等学校	工藤律子	「競争」より「協同」 自分らしく生きるために
6/9(月)	PM	愛媛新聞社	愛媛	今治南高等学校	工藤律子	「競争」より「協同」 自分らしく生きるために
6/11(水)	AM	岩手日報社	岩手	一関学院高等学校	澤田瞳子	読書とはなにか
6/11(水)	PM	岩手日報社	岩手	前沢東高等学校	澤田瞳子	読書とはなにか
6/11(水)	PM	中日新聞社	愛知	名城大学附属高等学校	内藤正典	多文化共生はなぜ難しいのか？ —自分らしく生きることと他者を知ることのあいだ
6/12(木)	PM	中日新聞社	愛知	名古屋大学教育学部附属 高等学校	内藤正典	多文化共生はなぜ難しいのか？ —自分らしく生きることと他者を知ることのあいだ
6/12(木)	AM	東奥日報社	青森	八戸聖ウルスラ学院高等学校	澤田瞳子	読書とはなにか
6/12(木)	PM	東奥日報社	青森	八戸学院野辺地西高等学校	澤田瞳子	読書とはなにか
6/12(木)	AM	大分合同新聞社	大分	津久見高等学校	久坂部羊	夢を叶える！
6/12(木)	PM	大分合同新聞社	大分	佐伯豊南高等学校	久坂部羊	夢を叶える！
6/12(木)	AM	福井新聞社	福井	仁愛女子高等学校	森田真生	人生の「道」の探し方
6/12(木)	PM	福井新聞社	福井	羽水高等学校	森田真生	人生の「道」の探し方
6/12(木)	AM	宮崎日日新聞社	宮崎	延岡商業高等学校	久坂部羊	夢を叶える！
6/12(木)	PM	宮崎日日新聞社	宮崎	延岡高等学校	久坂部羊	夢を叶える！
6/13(金)	AM	北國新聞社	石川	金沢西高等学校	森田真生	人生の「道」の探し方
6/13(金)	PM	北國新聞社	石川	松任高等学校	森田真生	人生の「道」の探し方
6/16(月)	AM	岐阜新聞社	岐阜	本巣松陽高等学校	村山由佳	別れが教えてくれること
6/16(月)	PM	岐阜新聞社	岐阜	揖斐高等学校	村山由佳	別れが教えてくれること
6/17(火)	AM	北日本新聞社	富山	高岡龍谷高等学校	村山由佳	別れが教えてくれること
6/17(火)	PM	北日本新聞社	富山	砺波高等学校	村山由佳	別れが教えてくれること
6/17(火)	AM	北海道新聞社	北海道	岩見沢緑陵高等学校	久住太陽	職業「漫画家」という選択肢
6/17(火)	PM	北海道新聞社	北海道	岩見沢農業高等学校	久住太陽	職業「漫画家」という選択肢

6/18(水)	PM	産経新聞社(T)	東京	青山高等学校	福岡伸一	生命は利他的である
6/19(木)	AM	産経新聞社(T)	埼玉	城北埼玉高等学校	福岡伸一	生命は利他的である
6/19(木)	AM	山形新聞社	山形	谷地高等学校	関口 尚	書く、書く、歩く
6/19(木)	PM	山形新聞社	山形	寒河江高等学校	関口 尚	書く、書く、歩く
6/20(金)	AM	福島民報社	福島	聖光学院高等学校	関口 尚	書く、書く、歩く
6/20(金)	PM	福島民報社	福島	伊達高等学校	関口 尚	書く、書く、歩く
6/20(金)	AM	長崎新聞社	長崎	諫早高等学校	島田雅彦	文化で勝つ
6/20(金)	PM	長崎新聞社	長崎	長崎女子高等学校	島田雅彦	文化で勝つ
6/20(金)	AM	高知新聞社	高知	須崎総合高等学校	真鍋 真	現代から恐竜に想いを馳せる
6/20(金)	PM	高知新聞社	高知	高知工業高等学校	真鍋 真	現代から恐竜に想いを馳せる
9/9(火)	AM	秋田魁新報社	秋田	西目高等学校	藤咲あゆな	大学受験が微妙な結果になっても 作家の夢を叶えられた件
9/9(火)	PM	秋田魁新報社	秋田	由利工業高等学校	藤咲あゆな	大学受験が微妙な結果になっても 作家の夢を叶えられた件
9/10(水)	AM	西日本新聞社	福岡	福岡海星女子学院高等学校	幾田桃子	美しい未来のために 「生きる」をデザインする
9/10(水)	PM	西日本新聞社	福岡	博多高等学校	幾田桃子	美しい未来のために 「生きる」をデザインする
9/10(水)	AM	上毛新聞社	群馬	高崎商科大学附属高等学校	吉田悠軌	「学校の怪談」から見える社会の変化
9/10(水)	PM	上毛新聞社	群馬	尾瀬高等学校	吉田悠軌	「学校の怪談」から見える社会の変化
9/11(木)	AM	新潟日報社	新潟	村上高等学校	吉田悠軌	「学校の怪談」から見える社会の変化
9/11(木)	PM	新潟日報社	新潟	村上桜ヶ丘高等学校	吉田悠軌	「学校の怪談」から見える社会の変化
9/11(木)	AM	中国新聞社	広島	福山明玉台高等学校	角幡唯介	犬嚙で旅をする
9/11(木)	PM	中国新聞社	広島	福山工業高等学校	角幡唯介	犬嚙で旅をする
9/12(金)	AM	山陽新聞社	岡山	作陽学園高等学校	角幡唯介	犬嚙で旅をする
9/12(金)	PM	山陽新聞社	岡山	岡山理科大学附属高等学校	角幡唯介	犬嚙で旅をする
9/17(水)	AM	佐賀新聞社	佐賀	佐賀学園高等学校	永山祐子	建築というきっかけ
9/17(水)	PM	佐賀新聞社	佐賀	佐賀工業高等学校	永山祐子	建築というきっかけ
9/17(水)	AM	京都新聞社	京都	平安女学院高等学校	コウケンテツ	食と旅と仕事を通して学んだ、10代の間になんとなくやっ ておいた方が良いのかも？と思うことについてのお話
9/17(水)	PM	京都新聞社	京都	大谷高等学校	コウケンテツ	食と旅と仕事を通して学んだ、10代の間になんとなくやっ ておいた方が良いのかも？と思うことについてのお話
9/18(木)	AM	神戸新聞社	兵庫	夢野台高等学校	コウケンテツ	食と旅と仕事を通して学んだ、10代の間になんとなくやっ ておいた方が良いのかも？と思うことについてのお話
9/18(木)	PM	神戸新聞社	兵庫	松陽高等学校	コウケンテツ	食と旅と仕事を通して学んだ、10代の間になんとなくやっ ておいた方が良いのかも？と思うことについてのお話
9/19(金)	AM	産経新聞社(O)	大阪	大阪桐蔭高等学校	綿矢りさ	ライフスタイル文学
9/19(金)	PM	産経新聞社(O)	大阪	大阪国際高等学校	綿矢りさ	ライフスタイル文学
9/24(水)	AM	四国新聞社	香川	香川誠陵高等学校	長谷川あかり	セルフケアのための令和の家庭料理学
9/24(水)	PM	四国新聞社	香川	坂出第一高等学校	長谷川あかり	セルフケアのための令和の家庭料理学
9/26(金)	AM	河北新報社	宮城	仙台青陵中等教育学校	小山佳一	クレーンゲームで学ぶ物理学」を書いて思うこと ～出会いは運命か～
9/26(金)	PM	河北新報社	宮城	松山高等学校	小山佳一	クレーンゲームで学ぶ物理学」を書いて思うこと ～出会いは運命か～
9/26(金)	PM	福島民友新聞社	福島	磐城高等学校	若松英輔	言葉とコトバ 一詩を読むこと、書くこと一
9/26(金)	AM	福島民友新聞社	福島	磐城第一高等学校	若松英輔	言葉とコトバ 一詩を読むこと、書くこと一
		37社	38カ所	開催76校	講師28名	

公益目的事業2

高等学校及び高等学校生徒を対象とし、その創作活動に対する顕彰、助成「読書体験記」を全国の高校生を対象に募集、選考。特に心に残っている本、大切にしている本を取り上げ、どのような状況でどのように読んだか、どのような影響を受けたかを書いてもらい、読書が自らの人間形成にどれほど重要なものか気づいてもらうことを企図する。

第45回「全国高校生読書体験記コンクール」**決算2,648万円**

応募作品数は55,961編と、前年より4,532編の減ではあるが、応募校数は414校と前年より15校増加。通信制高等学校の参加が昨年より増えている感触があった。表彰式を1月26日に東京ドームホテルで行い、中央入賞者とその家族、引率教諭、該当新聞社、選考委員、理事、評議員など関係者を招待したところ、140名の出席となり、盛況の会となった。発表冊子を配布し、中央入賞者には各賞の賞状、楯、記念品を、入賞の学校には、学校賞として、集英社文庫100冊セットの目録と盾を授与し、表彰式後には小宴を催した。

●実施概要

企画名	第45回 全国高校生読書体験記コンクール
主催	公益財団法人 一ツ橋文芸教育振興会
後援	文部科学省、全国都道府県教育長協議会、全国高等学校長協会、新聞社36社、集英社
告知	2025年6月 応募要項一式を全国の高校6,832校に送付
募集期間	2025年6月1日～9月22日
応募締切	2025年9月22日(校内予選で1校5編以内)
応募数	55,961編(全国47都道府県399校)
都道府県別選考	2025年10月1日～15日
中央選考会	2025年12月2日
発表冊子出来	2026年1月20日
表彰式・懇親会	2026年1月26日 東京ドームホテル(出席者140名)
優良・入選者への授与	発表冊子、賞状、楯、記念品等を 2026年1月28日に到着するように各学校送付
上記以外の応募校	選外の学校へは発表冊子を 2026年1月末着で順次発送。参加全校へ集英社の読書情報誌『青春と読書』を1年間寄贈
当財団HP発表	発表冊子の PDF 版を 2026年1月30日に掲載

●選考方法

都道府県別選考会で入選作 5 編(優良賞 1 編・入選 4 編)を決定し、各都道府県の優良賞 47 編の中から、中央選考会において、中央入賞 8 編※を選出する。

※ 文部科学大臣賞 1 名、全国高等学校長協会賞 2 名、一ツ橋文芸教育振興会賞 5 名

●中央選考委員(敬称略)

辻原 登(作家)、穂村 弘(歌人)、角田光代(作家)、
田村 学(文部科学省初等中等教育局主任視学官)、
林 達也(全国高等学校長協会 都立八王子拓真高等学校校長)

●賞

賞名・授与数	授与
中央入賞 8 名	
文部科学大臣賞 1 名	賞状・楯・記念品※
全国高等学校長協会賞 2 名	賞状・楯・記念品※
一ツ橋文芸教育振興会賞 5 名	賞状・楯・記念品※
優良賞 39 名	賞状・記念品 (シャープペン)
入選 188名	賞状・記念品 (シャープペン)

※ 図書カード (1万円) と万年筆

●学校賞

授与数	授与
中央入賞者在学校 8 校	楯・「集英社文庫 100 冊セット」
優良賞入賞者在学校 39 校	「集英社文庫50冊セット」
入選者在学校 156 校※	『集英社国語辞典』

※ 一校に複数の入選がいる場合でも国語辞典は1つ。

* 別添資料：『第45回全国高校生読書体験記コンクール 入賞者発表』冊子

●第45回 2025年度

「全国高校生読書体験記コンクール」中央入賞者一覧 (継承略)

文部科学大臣賞

兵庫県立阪神昆陽高等学校 一年 嘉納美波 (かのう・みなみ)

「一冊の本が見つないだ縁」

(体験書籍『怪談売買録 死季』宇津呂鹿太郎 竹書房)

全国高等学校長協会賞

北海道札幌南高等学校 二年 北村柚乃 (きたむら・ゆずの)

「燃やすべきは」

(体験書籍『金閣寺』三島由紀夫 新潮社)

青森県 青森明の星高等学校 三年 船橋拓実 (ふなはし・たくみ)

「私の心の奥底に眠る言葉」

(体験書籍『はじめての短歌』穂村 弘 河出書房新社)

一ツ橋文芸教育振興会賞

秋田県立大曲高等学校 一年 小原理子 (おはら・りこ)

「『ちょっとだけ』の思いやり」

(体験書籍『ちょっとだけ』瀧村有子 絵/鈴木永子 福音館書店)

新潟県立三条高等学校 一年 向井理湖 (むかい・りこ)

「読書を知る」

(体験書籍『本を読んだことがない32歳がはじめて本を読む』かまど みくのしん 大和書房)

岐阜県立岐阜北高等学校 二年 北川蒼太 (きたがわ・そうた)

「僕の思う“理解”」

(体験書籍『息子のボーイフレンド』秋吉理香子 双葉社)

京都府立嵯峨野高等学校 一年 牧野菜々子 (まきの・ななこ)

「音楽を世界に連れ出して」

(体験書籍『蜜蜂と遠雷』恩田 陸 幻冬舎)

熊本県 熊本信愛女学院高等学校 二年 金山夕姫乃 (かなやま・ゆきの)

「愛の数式、私たちの解」

(体験書籍『博士の愛した数式』小川洋子 新潮社)

公益目的事業3

青少年の育成に関する調査研究、実践活動を行っている団体及び個人に対する協賛、助成

① 「中国高校生日本語作文コンクール」への協賛・助成 決算 300万円

「一般財団法人 日本児童教育振興財団」内「日本青少年研究所」が主催する事業であり、中華人民共和国各地で日本語を学ぶ高校生たちが日本語で綴る作文を顕彰。中国国内147校より659編の応募があり、審査会を経て、1等賞 58名、2等賞 55名が選ばれた。表彰式は7月25日にオンラインで実施し、1等賞の中から20名に対し、一ツ橋文芸教育振興会賞を授与した。10月には最優秀賞受賞の14名が来日し、日本の高校生たちと交流した。協賛・助成金は昨年と同様の300万円とした。

※別添資料：『2025年 第29回「中国高校生日本語作文コンクール作品集」』（一般財団法人 日本児童教育振興財団内 日本青少年研究所）

② 全国高等学校国語教育研究連合会への助成 決算225万円

全国高等学校国語教育連合会（全国連）傘下の地方組織が開催する高等学校の国語科教師の研究会（国語部会）からの要請に応え、講師を派遣。国語教育の重要性が再認識されるなか、作家・有識者の言葉や考え方を直接聞く機会が求められている。その一助となることを目的に助成を行っている。2025年度は岩手県国語部会に、直木賞作家の松井今朝子氏を派遣して、講演料20万円のうち10万円を、また大分県国語部会に芥川賞作家であり、当財団の理事でもある辻原 登氏を派遣して、講演料20万円のうち15万円を助成した。

助成等概要(敬称略)

後援・助成先	助成内容	金額
岩手県高等学校教育研究会国語部会	講師派遣（松井今朝子氏） 講演料一部負担	100,000円
大分県高等学校教育研究会国語部会	講師派遣（辻原 登氏） 講演料一部負担	150,000円

③ 全国高等学校文化連盟への協賛・助成 決算 446万円

公益社団法人全国高等学校文化連盟（全国高文連）による、中央・地方の高等学校文芸コンクールを中心に、図書専門部門、文芸専門部会などの読書推進活動への協賛・助成。北海道全道高等学校図書研究大会・上川大会の講師に片野ゆか氏を派遣。岩手県高等学校総合文化祭文芸部門・文芸祭には高野秀行氏を、埼玉県高校生文芸倶楽部には鴻巣友季子氏を講師として派遣し、それぞれ15万円を助成した。第45回全国高等学校総合文化祭文芸

部門（かがわ総文祭）及び第37回全国高等学校文化連盟研究大会（群馬大会）には講師派遣はせず、それぞれ5万円の助成のみ実施。

毎年協賛・助成をしている「第40回全国高等学校文芸コンクール」（主催：全国高等学校文化連盟、読売新聞社）には、阿部暁子氏の講演派遣及び30万円の助成をし、「一ツ橋文芸教育振興会賞」に賞状と副賞（集英社文庫50冊セット）を、「文芸部誌部門」優秀賞に集英社文庫50冊セットを贈呈した。

また、文学、学術、思想、芸術など様々なジャンルから良質な議論や情報を取り上げ紹介する新聞「週刊読書人」は継続して買い上げ、全国158校の高等学校国語担当主任教諭に送付した。

助成等概要(敬称略)

後援・助成先	助成内容	金額
北海道高等学校文化連盟 全道高等学校図書研究大会（上川大会）	講師派遣（片野ゆか氏） 講演料一部負担	150,000円
岩手県高等学校総合文化祭文芸部門・文芸祭	講師派遣（高野秀行氏） 講演料一部負担	150,000円
埼玉県高校生文芸倶楽部 （埼玉県高校生文芸コンクール表彰式）	講師派遣（鴻巣友季子氏） 講演料一部負担	150,000円
全国高等学校文化連盟研究大会 （かがわ総文祭）	助成のみ	50,000円
全国高等学校文化連盟研究大会（群馬大会）	助成のみ	50,000円
全国高等学校文芸コンクール		
① 記念講演	講師派遣（阿部暁子氏） 講演料助成	300,000円
② 文芸誌部門の最優秀賞・文部部科学大臣賞と一ツ橋文芸教育振興会賞受賞の各高校の文芸部	集英社文庫50冊×2 贈呈	71,520円
週刊読書人	全国高校の158校の 国語担当主任教諭に送付	2,000,000円

*別添資料：「週刊読書人」2月27日号

④ 「ノベル大賞」への協賛・助成 決算 200万円

新人作家の育成を目的とした「ノベル大賞」は、株式会社集英社と共催する公募文学賞で、若手作家の登龍門のひとつ。ここから氷室冴子氏、唯川恵氏、山本文緒氏、谷瑞恵氏、須賀しのぶ氏ら第一線で活躍する作家を輩出してきた。2025年度は大賞が2作、佳作が1作となった。ノベル大賞募集・発表の告知に当財団との共催を明示。

●選考結果

大賞	「四人のナオちゃん」松本愛世（東京都） 「佐藤の告白」藤紘（大阪府）
佳作	「税理士 鮫島桐子」橘マコト（東海地方）

●選考委員

今野緒雪(作家)、三浦しをん(作家)、似鳥鶏(作家)、丑尾健太郎(脚本家)

●賞

大賞：正賞の記念品、副賞 300万円

準大賞：正賞の記念品、副賞 100万円

佳作：正賞の記念品、副賞 50万円

⑤ 「聞き書き甲子園」への協賛・助成

決算 50 万円

「聞き書き甲子園」は、農林水産省、文部科学省、環境省、公益社団法人国土緑化推進機構、非営利活動法人地球緑化センター、NPO法人共存の森ネットワークなどが主催。高校生たちが、全国の森、海、川の名人と1対1で聞き書き取材をしてレポートを作成する。第24回は9作品が農林水産大臣賞等、優秀作品に選ばれた。また代表の高校生たちと名人が体験談を発表する「聞き書き甲子園フォーラム」が3月に国際オリンピック記念青少年総合センターで開催された。

⑥ 災害罹災校への支援・助成

決算 100 万円

2025年度は、災害罹災校支援はなく、病気や災害などで親を亡くした子どもたちや障がいなどで親が十分に働けない家庭の子どもたちを支援している「一般財団法人 あしなが育英会」に100万円の寄付をした。

附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条 第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は、特になし。

2026年 4月 公益財団法人 一ツ橋文芸教育振興会